

IVRにおける透視画像の視認性向上に関する研究

1. 研究の対象

2020年9月～2025年3月に当院でIVRを受けられた方

2. 研究目的・方法

IVR (Interventional Radiology ; 画像下治療) は放射線を用いて、ガイドワイヤーやカテーテルなどのデバイスを目的部位まで進めて行き手技を行います。IVRに用いるデバイスは数多くあり、材質や径などの違いで放射線による透視画像の視認性が異なります。当センターで使用する血管撮影装置は、透視画像の視認性に関わる階調処理を自由に選択できる機能を有しています。本研究では、IVRの手技中に保存してある透視画像を用いて、デバイスに合わせた透視画像の最適な階調処理について後方視的検討を行います。

研究予定期間：倫理審査委員会承認後 ～ 西暦2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、性別、CT・エコー・血管撮影検査の画像 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 放射線診断・IVR科 樫本 公明 (研究責任者)

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上